

（宛先）新潟市長

所在地 新潟県新潟市西区坂井砂山 2-18-2

団体名 特定非営利活動法人みらいず works

代表者名 小見まいこ

実績報告書

令和6年4月1日付け新中地第63号の2で交付決定のあった下記提案事業について、新潟市まちづくりパートナーシップ事業補助金交付要綱第21条の規定により、関係書類を添えて次のとおり実績を報告します。

記

市の課題（テーマ）	提出した部署名	新潟市中央区地域課
	課題・テーマ名	子どもの権利保障の取組推進及び取組を通じた地域貢献ができる人材の育成
提案事業の名称	ファシリテーター育成を核とした子ども若者の意見表明や社会参加を促す環境整備事業	
課題解決するまでの事業全体の実施予定期間	令和6年 4月 1日から 令和9年 3月 31日まで	
交付決定額	交付決定額	1,274,000 円
事業実施内容	現時点での実施状況 ①第1回子ども意見表明ファシリテーター養成講座 ②第2回子ども意見表明ファシリテーター養成講座 ③意見表明ワークショップ（新潟県立新潟南高等学校） ④意見表明ワークショップ（新潟市立鳥屋野中学校） ⑤第1回子ども若者ミーティング ⑥第2回子ども若者ミーティング ⑦みらいず works 活動報告会にて、本事業紹介を実施する	
添付書類	1 収支決算書 2 領収書又はその写し 3 その他必要な書類（事業チラシ、実施写真、図面等、実施状況がわかるもの）	

令和6年度新潟市まちづくりパートナーシップ実施報告書

提案事業の名称	ファシリテーター育成を核とした子ども若者の意見表明や社会参加を促す環境整備事業
---------	---

1 事業について

実施事業について

子ども若者の意見表明しやすい環境づくりを行い、社会参加を促すため、18歳以上を対象にした子ども意見表明ファシリテーター養成講座を実施する。また、中央区内の中学校・高校の生徒を対象にファシリテーションの基礎授業を行い、子ども若者、大人と幅広い世代が意見表明しやすい場を創造していく。

実施内容

①子ども意見表明ファシリテーター養成講座（全2回）

18歳以上の大人を対象にした子ども意見表明ファシリテーター養成講座を2回実施した。参加者の属性は以下の通りである。

フリースクール運営ボランティア、新潟県庁、新潟市家庭教育支援、団体職員、地域教育コーディネーター、公民館活動協力員、子育てサロン主宰、学校教員など

【第1回】

■講師との事前打ち合わせの実施（1回）

日 時：2024年8月28日（水）10:00～11:00：オンライン

■講座実施（1回）

日 時：2024年10月6日（日）13:30～16:00

会 場：森の共育実修所「点塾」

講 師：広瀬太智様（認定NPO法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン）

参加者数：20名（NPO法人みらいず works 職員は除く）

講座の様子：



講座の感想

- ・ファシリテーションの難しさを実感しました。発言を促すコツや質問の仕方など、具体的な方法を教えていただき大変参考になりました。
- ・公民館での乳幼児期家庭教育学級や新潟市の家庭教育支援事業の現場、ふれあいスクールで子どもたちとのやりとり、地域の子どもたちとの話し合いの場やCSで今日学んだことを生かしていきたいです。
- ・ファシリテーションという言葉を実際にざっくりとしか理解していなかったので、今回の講座を通して、具体的にファシリテーションの実態を掴むことができました気がします。

【第2回】

■講師との事前打ち合わせの実施（1回）

日 時：2024年9月9日（月）11:00～12:00：オンライン

■講座実施（1回）

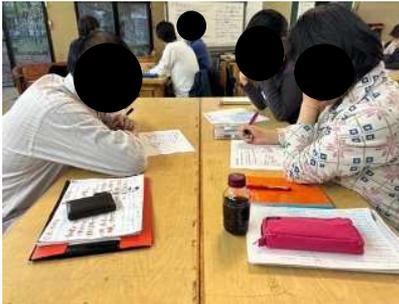
日 時：2024年11月24日（日）13:30～16:00

会 場：森の共育実修所「点塾」

講 師：土肥潤也様（NPO法人わかものまち代表理事）

参加者数：16名（NPO法人みらいず works 職員は除く）

講座の様子：



講座の感想

- ・対象者をしっかり考え、参加者の目線・立場に立つことは重要と思いました。前提をしっかり整えることも大切です。
- ・いろんな機関との調整でどうしても必要なさそうなプログラムが入ってしまうことがあるんだと分かった。参加者が意見出しやすい環境づくり First だと思っていた。
- ・プログラムの計画は思ったよりも難しく、ワークがあったことで学びは深まりました。

②意見表明ワークショップ（中高合わせて3回）

中学校1校で1回、高等学校1校で2回ファシリテーションの基本を学ぶ授業を実施した。

【新潟県立新潟南高等学校】

■打ち合わせの実施（3回）

- 日 時：・2024年7月28日(日)教員への事前説明
・2024年9月10日(火)教員とのワークショップの事前打ち合わせ
・2024年10月31日(木)教員への子ども若者ミーティングへのゲスト参加のお願い

■ワークショップ

- 日 時：第1回 2024年10月24日（木）16:10～17:00
第2回 2024年10月31日（木）16:10～17:00

会 場：新潟県立新潟南高校

参加者数：11名（探究部の生徒対象）

講座の様子：



■講座の感想：

- ・ファシリテーターにも、中立であるがゆえの責任が生じるということ。中立は共感ではないという話が出たが、ファシリテーターはあくまで話し合いを行う人を助ける立場であって、司会でもあるのだと思う。
- ・日常の会話とかでも使えそうだったし、初対面の人と話す時にも役立ちそうだと思います！
- ・ファシリテーターは話している人の意見に寄り添い、その意見について自分でも考えながら話を進める難しい役割だと思いました。それでも、相手の思いを受け止めながら積極的に行動しようと思えば自分にもできるのかもしれないと思いました。

【新潟市立鳥屋野中学校】

■打ち合わせの実施（4回）

- 日 時：・2024年6月28日(金)校長への事業説明・打診
・2024年9月17日(火)生徒会担当教員への説明
・2024年11月5日(火)生徒会役員への説明会実施
・2024年11月26日(火)子ども若者ミーティング打ち合わせ
・2025年1月16日(木)子ども若者ミーティング打ち合わせ

■ワークショップ

日 時：2024年11月11日（月）15:00～17:00

会 場：新潟市立鳥屋野中学校ランチルーム

参加者数：33名（有志の生徒対象）

講座の様子：



■講座の感想：

- ・明日からの話し合いや、家庭内など、自分の意見を話すときだけでなく、相手の意見を聞くときや、全体で話を深め方を生かしていきたいです。
- ・互いに知り合おうと思って接することが大事なんだと気づくことができました。
- ・「話す・きく・考える」この3つについて深く考えれました。自分の意見を話すだけではなく、相手の意見の聞き方、話し合い方や考えの深め方について学びました。

③子ども若者ミーティング（全2回）

全2回、子ども若者ミーティングを実施した。

【第1回目】

■講座実施

日 時：2024年12月7日（土）13:30-16:00

会 場：新潟市立鳥屋野中学校ランチルーム

参加者数：子ども意見表明ファシリテーター受講者10名、新潟県立新潟南高校生徒2名
新潟市立鳥屋野中学校生徒12名、上所コミュニティ協議会3名

講座の様子：



■講座の感想

【養成講座受講者】

- ・子どもたちの素直な意見や照れながらも話す姿を見て、自分ごととして考えるとたくさんのことを考え口に出せるのだと思いました。
- ・中学生、高校生の視点で気付かされることがありました。真剣に考えていて、自分の考え、意見があり、素晴らしいと思いました。

- ・中高生の考察力、言語化能力の高さに驚かされました。笑顔で接することで構わず自然にコミュニケーションができたと思う。

【生徒】

- ・様々な立場の人と交流することで、自分には思いつかない意見がたくさん出てくることに気づいた。課題点はたくさんあるかもしれないけれど、いいところを伸ばすことが必要だと考え、学ぶことができた
- ・いろんな世代を交えて対話をすることでその世代ならではの声を聞くことができ、話し合いが楽しかった
- ・自分以外の人と話す機会はあまりなかったし、緊張したけど自分の思っていない意見がたくさん出てきて面白かったです。学んだことは、今日話し合った人だけでなく、地域、市などの人たちとも協力するともっと良くなるということです。どんどん地域の人と関わられるようにしたいです。

【上所コミュニティ協議会】

- ・今の中学生が活発に自分の意見を発表できることに感激しました。班ごとのいろんな意見を今後参考にしていきたい。
- ・初対面で中学生さんたちが素直で優秀でとても素晴らしい意見を出してくれて驚いた

【第2回目】

■講座実施

日 時：2025年1月25日（土）13:30-16:00

会 場：新潟ユニゾンプラザ小研修室2

参加者数：子ども意見表明ファシリテーター受講者7名、

新潟市立鳥屋野中学校生徒12名、上所コミュニティ協議会5名

講座の様子：



■講座の感想

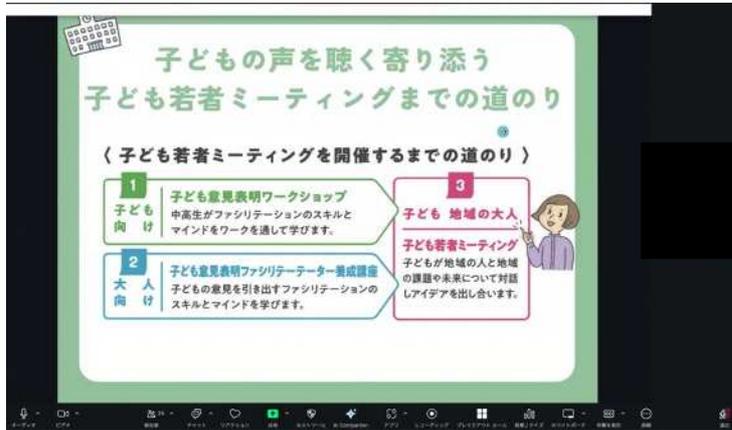
【養成講座受講者】

- ・年代が上の方がいかにフラット感を出すかどんな意見も受け止めるというあり方であるかが生徒さんたちののびのびとした思考と発言につながるかということ学びました。
- ・子どもたちの意見、気づきに私自身も「そうなんだ。」という気づきがありました。多世代で話すことってよいなと思いました。
- ・地域の中学生とともに、地域のためにできることを考えていきたいと思います。（中学生と話して決めたいです）

【生徒】

- ・最初は頭が回らなくて、いい考えが出るか少し不安だったけど、いろんな人と話していくうちに考えが深まったり、新しい考えも出てきて、すごく楽しかったです。

講座の様子：



⑤その他

子ども若者ミーティングのテーマ提供のため、上所コミュニティ協議会の方々に向けた説明を計5回行った。

- ・2024年7月24日（水）上所コミュニティ協議会への打診
- ・2024年9月3日（火）上所コミュニティ協議会役員への説明会の実施
- ・2024年10月25日（金）上所駅サポート隊メンバーへの説明会の実施
- ・2024年12月3日（火）第1回子ども若者ミーティングの打ち合わせを実施
- ・2025年1月17日（金）第2回子ども若者ミーティングの打ち合わせを実施

効果検証

★本年度の成果

1.子ども意見表明ファシリテーター養成講座

- ・ファシリテーションのスキルとマインドを伝えることができた。
- ・参加者は各活動において習得したスキルの活用をイメージできた。
- ・参加者は学校関係者が多く、学校現場および子どもの居場所に関わる方のニーズが高い。

参加者23人中8名が学校関係者（教職員・地域教育コーディネーターなど）であった。また、全4回の研修全てに参加した参加者5人中4人が学校関係者と本講座に強い興味関心があったことがうかがえる。

ファシリテーションの基本を学び、意見の傾聴や子どもとの関わりに対して、学習し生かしたいと考えている方が多くいた。また、今後、子どもの意見を聴く場でも活用していきたいという意見があった。

●アンケートより

参加者13人中12人（92.0%）がファシリテーションのスキルを活用していきたいと回答した。

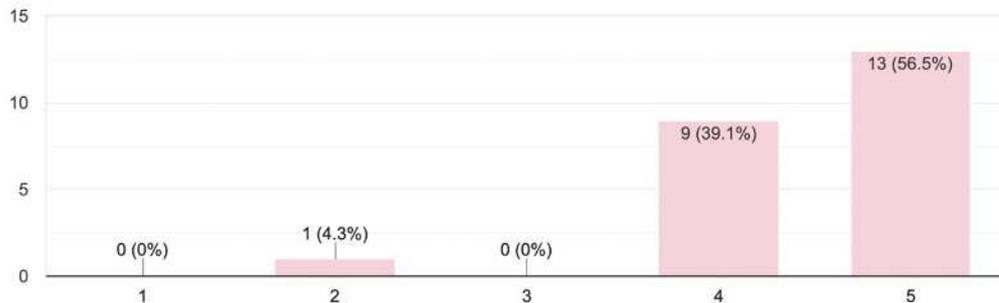
- ・学校の道德の授業で、ファシリテーターとして授業運営をしているのでその時や、日常の場面で意識して使っていきたいです。
- ・学校の生徒指導の場面でも活用できるスキルであった。
- ・公民館での乳幼児期家庭教育学級や新潟市の家庭教育支援事業の現場、ふれあいスクールで子どもたちとのやりとり、地域の子どもたちとの話し合いの場やCSで今日学んだことを生かしていきたい。

2,モデル校に対する子ども意見表明ワークショップ

- ・中高生にファシリテーションの基本と対話の楽しさを伝えることができた。
- ・生徒会や学級活動にも活用したいとの声もあり、ファシリテーションの活用をイメージをもってもらうことができた。

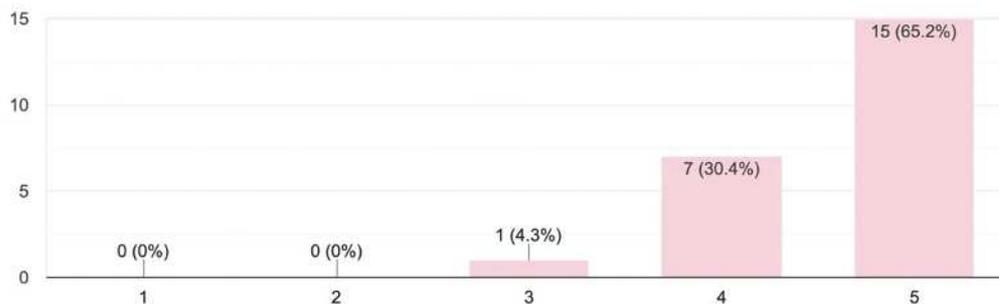
5. 自分自身が持つ、思いや考えを伝えることができましたか？

23件の回答



6. 話し合いをして、楽しかったですか？

23件の回答



鳥屋野中学校では、放課後希望制の講座ではあったが、生徒 33 人が参加した。生徒会関係の生徒のほか、普段、人と話すのが苦手という生徒も数名参加し、教職員も 10 名ほど見学。教職員の対話に対する意識向上にもつながった、との声もあった。

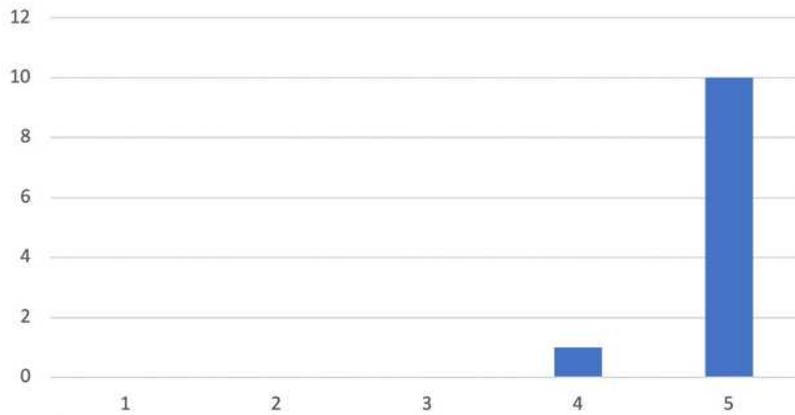
●アンケート自由記述より

- ・互いに知り合おうと思って接することが大事なんだと気づくことができました。
- ・「話す・きく・考える」この3つについて深く考えられました。自分の意見を話すだけでなく、相手の意見の聞き方、話し合い方や考えの深め方について学びました。
- ・クラスでの話し合いでいい雰囲気を作るために、まずは自分が今回学んだことを使うことで、いろいろな人が話しやすい雰囲気を作っていきたい

3,中央区子ども若者ミーティング

生徒

- ・参加した生徒は上所駅周辺の未来を創造し、コミ協のみなさんと地域について対話することで社会参画意識の醸成につながった。
- ・未来を話し合う楽しさ、また自分の意見を聞いてもらえる嬉しさを実感することができた。
- ・地域の方と交流することで地域への関心を高めることができた。



- ・参加生徒 12 人中 11 人 (91.6%) が「上所駅について地域の方と話し合いをして楽しかった」と回答

●アンケート自由記述より

- ・自分の考えを上手く言葉にして意見をまとめ、発展してくれた大人の人はすごいと思いました。自分もそんな大人になりたいです。
- ・実現したいと思うものがたくさんあったので企画に関われたらと思った
- ・駅ができるという大きなことに関わるにあたって、どんな利点があるか、欠点をどうすれば解決できるかと考えることが大切なんだ！と気づけました！
- ・社会の構成員としてよりよい社会のために積極的に参加したいと考えるようになりました。
- ・未来のことを考えてワクワクした。駅が近くなるのでこれから楽しみ。

■鳥屋野中学校担当教員より

1, ファシリテーション講座について

- ・「聞く・書く・話す」を体験し、生徒たちが「話したい、聞いてもらいたい」と感じていることを実感した。
- ・話し合いの進め方のモデルを学び、実践的なスキルが身についた。
- ・コンパクトで分かりやすい体系化された内容で、体験を通じて理解を深められた。
- ・次世代のリーダーにとって貴重な学びとなった。
- ・教員にとっても学びとなり学校で対話が当たり前となる文化を築く一歩になると感じた。

2, 子ども若者ミーティングについて

- ・世代を超えた対話の場となり、貴重な経験ができた。
- ・開業する駅を「自分たちの駅」と感じる意識が高まった。(地域のことが自分ごとになった)
- ・駅のオープニングでは、子どもたちが横断幕を作成し、地域の人々と再会し盛り上げることができた。

3, みらいず works について

- ・押し付けるのではなく、教育の視点、生徒の様子に寄り添ってすすめてくれる姿勢がありがたかったです。

■ファシリテーター

- ・実践を通して子どもの発想力や対話力を知り、スキルを実践したいという意欲を引き出すことができた。
- ・第2回子ども若者ミーティング参加者7人中7人が「グループワークの際、生徒の意見を引き出すことができた」と回答。
- ・参加者7人中5人（71.4%）が、子どもや地域の人話を聞いたり、意見を引き出してみたいと回答。

●アンケート自由記述より

- ・学校でささいな事でも子どもたちに意見きいてみたいです
- ・子どもに関わる職なので、子どもの声をしっかり活かして、学級経営や授業運営をしていきたい。
- ・特に総合学習では子どもの「やりたい」を引き出していきたい。
- ・地域の中学生とともに、地域のためにできることを考えていきたいと思います。

地域

- ・上所コミュニティ協議会の方々は中学生の活発な意見や発想力に刺激を受け、生徒とともに活動したいという意識を持つことができた。

2 次年度以降の事業計画について

★本年度の課題

- ①本年度の実施計画では、意見表明ワークショップをモデル校の選定としたが、採択時期にすでに年度が始まっており、学校の教育課程に組み込むことが難しく、授業時間外かつ有志の参加にとどまった。
- ②本年度は、子ども意見表明ファシリテーター養成講座を軸とし本事業を実施した。しかし、子ども若者ミーティングを開催するにあたって、地域、学校及び生徒、そして子ども意見表明ファシリテーター養成講座受講者の三者の募集及び調整が必要であった。

★ふりかえりからの手の打ちどころ

本事業における目的は、社会に参画する権利、担い手意識の醸成であることから、同じフィールドを持つ生徒と地域が対話することで、生徒は社会参画意識を醸成することができ、地域は生徒の活発な意見を聴くことができる。これを実現するために学校と地域の連携を推進する制度、「コミュニティ・スクール」を活用することは有効であると考え。地域内の大人と子どもが話し合い、関係性をつくることで、アイデアが地域で実行・実現できる可能性が高まり、生徒は自己効力感を感じ郷土愛、社会参画意識の醸成にもつながると考える。

★来年度実施計画（案）

- ① 子ども意見表明ファシリテーター養成講座の実施（大人対象）
公募・対象コミュニティ各地域1回ずつ、中央区内の地域で開催する。
- ② モデル校に対する子ども意見表明ワークショップの実施（学校・生徒対象）
1～2校区程度公募から選定する。
- ③ 学校運営協議会向け子ども若者ミーティングの実施（コミュニティ・スクール対象）
各校1回で実施。